特定非営利活動法人　なかのドリーム

2017 年 4 月　7 号

私たちは重症心身障害児者のサポート団体です　　H.P　http://nakanodream.main.jp/

事務局　〒164-0012　中野区本町 6-36-5-102　電話 03-6454-1230　fax03-6454-1231

出会いと別れ

自宅からさほど遠くない駅前に、小さなトルコ料理店があった。一階の屋台には働き者で真面目そうな販売員がケバブを売っていて、美味しさと安さから時々購入していた。

1 年程前の雪の降る日、パンに挟める肉を鶏か牛か選択できるか尋ねたところ、彼が突然イタリア語を話し始めたので、腰を抜かすほど驚いた。トルコ料理店で働く小柄な外国人が実はイタリア人だったと誰が想像できようか。先方もこちらが少しだけイタリア語を解することに興味を持ったようで、カルチョのこと、カンツォーネのこと、イスラム教のことなどを日本語も交えながら話をし、時にはおまけもしてくれた。

その店が今年 3 月末で閉店になると聞き、ローマに帰る前に挨拶に行った。「チ・ヴェディアーモ（また会いましょう）」と微笑む彼にとって、トーキョーでの生活は満足だったのだろうか。そのことを聞きそびれて、とても悔やんでいる。

春は出会いと別れの季節。当法人の成立時から陰になり日向になり支えてくださった方々が、退職された。職員一同より深く御礼申し上げるとともに、今後のご健勝とご多幸を祈念したいと思います。そして新しく職員となる方々との出会いを楽しみにしています。どうぞ宜しくお願い致します。

理事長　高田功二

東京新聞取材

2018 年 2 月 8 日から 3 回にわたり、東京新聞総合面で「医療的ケア児と歩む」が連載されました。医療的ケア児の現状や課題を福満親子の日常から追った記事です。連載 2 回目は「おでんくらぶ」が取り上げられました。3 回目では、なかのドリーム理事である山田正興医師のコメントが掲載されました。記事の一部をご紹介いたします。

2018 年 2 月 9 日朝刊抜粋

「親子の自立支える場を」

（略）平日午後二時半。特別支援学校から送迎車に乗り、子どもたちが施設に到着した。車椅子から抱えられてマットに移ると、待機する看護師が体調を確認する。（略）

たんの吸引やおむつ替えを終え、職員がギター片手に歌いながら一人一人の名前を呼びかけた。児童指導員ら職員はそれぞれの子に付いて体を支える。返事をする子、笑顔を見せる子もいる。(略)

専門資格のある職員の確保や運営費の課題が大きく、医療的ケアのできる施設は少ない。管理者の今馳直樹さん（５６）は「体調を崩しやすい子たちなので、当日キャンセルも多い。職員の調整は大変です」。看護師の田中智美さん（４１）は「医師がいない場での体調急変時の判断は難しい」と話す。

住友生命　未来を強くする　子育てプロジェクト　「未来賞」を受賞しました

住友生命 第 11 回未来を強くする子育てプロジェクトにて、スミセイ未来賞をいただきました！このプロジェクトは子育て支援活動の表彰と、女性研究者への支援の 2 つの公募事業を柱として、毎年広く募集をしています。社会の変化とともに、子育ての環境は大きく変わってきています。どんな子どもたちも、社会で育てていく環境作りが大切です。今回は、過去最多の 231 団体から子育て支援部門に応募がありました。今回の授賞を明日への糧にして、これからも子どもたちの笑顔と家族のために！頑張っていこうと思います。

住友生命取締役橋本社長と福満・岡田理事

橋本社長は「子どもたちは未来を支える社会の宝。子どもたちの明るい笑顔は私たちが強く生きるための明日への力」と語っていました。

素敵なクリスタルのトロフィーをいただきました！

都市部は、人件費や家賃、送迎車の維持費など経費も高い。(略)寄付金などでまかなっているが、今馳さんは「ここは子どもたちが社会性や生きる力を身に付ける場。親子の自立を支えていきたい」。

2018年2月10日朝刊抜粋

「訪問医師、看護師養成を」

(略)医療的ケア児に対応できる医師はまだ少ない。中野区医師会の前会長で、福満さん親子を知る山田正興医師（64）は、地域での在宅医療の難しさを指摘する。産婦人科医として、かつては病院の新生児集中治療室（ＮＩＣＵ）で管理されていたような障害の重い子が、地域に戻ってきていると感じる。複雑で難し病気の子も多く、成長や環境の変化で体調や症状も変わりやすい。訪問診療にあたる医師は最新の医療機器の扱いやケア、行政の福祉サービス、教育機関の現状にも精通していないと務まらないという。「小児を診ることができる医師と看護師の養成が急務。地域の医療と福祉、教育が連携して支える態勢を整えなければ」。(略)福満さんは、(略)「一生懸命生きようとする娘は、きれいごとではなく、いるだけで周りにパワーをくれる存在。だからこそ声を上げていきたい」。何十年にも及ぶケアや介護を、家族だけで抱え込まずに済む社会になるように。

おでんくらぶ事業報告

＊登録者数：30名（児童発達支援7名・放課後デイサービス23名）
【中野区17名　杉並区9名　渋谷区3名　目黒区1名】

＊月利用のべ人数と一日の平均利用人数、および利用率

11月	12月	1月	2月	3月
107人	92人	87人	86人	98人
4.46人	4.38人	4.14人	3.74人	3.92人
89.2%	87.6%	82.8%	74.8%	78.4%

登録者数が増えました。冬季インフルエンザの流行にもかかわらず、1月まで子どもたちは元気に通ってきてくれました。2月に入り、体調を崩すお子さまが多く23名がキャンセルとなっています。年末はクリスマス週間として1週間クリスマス会を実施。最近はお湯をビニル袋に入れた「ウォーターベッド」遊びがみんなのお気に入りです。保護者の方と職員にアンケートを実施しました。結果はホームページでも公開しておりますのでぜひご覧ください。　★運転手さんを募集しています！詳細はお電話下さい。

訪問介護なべ事業報告

＊利用者数：10名【中野区9名　新宿区1名】

訪問介護なべでは重い障害を持つお子さまを中心に訪問介護や移動支援等をおこなっております。より、多くの方のご希望に応じたサービスを行うため、登録ヘルパーを募集しています。みなさまからのお問い合わせ、ヘルパーのご紹介をお願いたします。

＊管理者：佐藤浩子
サービス提供責任者：上條瑠璃呼　松田弥生

おでんくらぶの卒業生！

放課後デイサービスは18歳までのご利用です。今年3月におでんくらぶでは卒業生を送りました。松長光輝君、ご卒業おめでとうございます！これから新しい場所で、あらたなスタートを迎えますね。お名前どおり光輝く体験をたくさんしていってください。ご家族のみなさま、本当におめでとうございます。

東京新世紀ライオンズクラブクリスマス会ご招待！

12月9日、新宿ヒルトンホテルにて開催されました、東京新世紀ライオンズクラブのクリスマス会にご招待を受けました。この日は楽しいショーやお食事を囲んで会員のみなさまと歓談。また、10万円のご寄付もいただきました。ご寄付は子どもたちのために有意義に使わせていただきます。心より、御礼申し上げます。

第4回　重心デイネット全国大会

2月11～12日大阪の国際会議場にて第4回重心デイネット全国大会が開催されました。野田聖子衆議院議員の「障害を持つ子の母として」ご講演他、あおぞら診療所仙台医院長田中医師、末光茂先生のご講演、そして厚労省担当官による平成30年度報酬改定の制度説明など充実した2日間でした。全国の重心児デイサービス事業者が300名以上集まり、交流もできました。

賛助会費・寄付のお願い

今年度から賛助会費を**一口3000円**といたしました。多くの方に会員になっていただきたくよろしくお願いいたします。

・賛助会費1口3,000円
・寄付金　1,000円~

①【ゆうちょ銀行から】
[口座記号・番号]
00190-3-420254
同封のお振込用紙をご利用下さい

②【他金融機関から】
ゆうちょ銀行
[店名・店番] 019（ｾﾞﾛｲﾁｷｭｳ）
[種目]当座
[口座番号] 0420254
[口座名]特定非営利活動法人なかのドリーム